

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2001年(平成13年)6月15日 No.1195

目次

対ロシア経済使節団極東の部に参加して	小川和男 1
統計速報	9
CIS・中東欧諸国・モンゴルの1人当たりGNI/9	
CIS諸国通貨の為替レート	9
「ロシア・CIS特別連続講座」開催のご案内	10

対ロシア経済使節団極東の部に参加して

はじめに このほど、対ロシア政府派遣経済使節団の極東シベリア・グループの一員として、ロシア極東を訪問してきた。5月30日にサハリンに入り、その後、沿海地方、ハバロフスク地方と回って、中国のハルビンを経由して6月6日に帰国した。

日ロ貿易は冬の時代が続いているが、経団連の尽力で実現した今回の使節団は「今井ミッション」の通称で日本でも大きな話題になった。今回の速報では、本ミッションの意義についての私見と、極東セクションに参加した感想を述べることにする。

使節団の意義

今回の対ロシア政府派遣経済使節団は、1976年8月の土光経団連会長を団長とする代表団以来、25年振りの大型経済ミッションとなる。2000年9月にプーチン・ロシア大統領が来日した際に今井敬経団連会長と会見し、変貌を遂げつつある新生ロシアの姿を日本の企業幹部に直接見てほしいと要請したのがきっかけで実現した。日ロ貿易は、2000年の日本側の輸出が6億ドルを下回るなど不振が続いており、日本の財界側にもこれについての危機感があったので、プーチン大統領の提案を快諾したものである。日本側のミッション参加者が報道関係者を含めると最終的に250人近くに膨れ上がり、当初関係者が想定していた規模をかなり上回ったことは、日本側の期待の大きさを裏付けた。プーチン大統領の多忙さから危ぶむ声もあったが、今井団長一行と大統領の会見が8日に実